

「サステナビリティボンド」および「サステナビリティ・リンク・ボンド」の発行条件決定

環境問題・社会課題双方の解決に貢献する第13回・第14回無担保社債の発行について

東急株式会社

当社は、環境問題・社会課題双方の解決に貢献する資金調達手段として、「サステナビリティボンド」および「サステナビリティ・リンク・ボンド」の発行条件を本日決定しました。

詳細は下記のとおりです。

記

社債の名称	東急株式会社第13回無担保社債 (社債間限定同順位特約付) (サステナビリティボンド)	東急株式会社第14回無担保社債 (社債間限定同順位特約付) (サステナビリティ・リンク・ボンド)
発行総額	100億円	100億円
年 限	5年	10年
各社債の金額	100万円 (個人投資家向け)	1億円 (機関投資家向け)
利 率	年0.49%	年0.749%
払 込 期 日	2022年12月15日	2022年12月6日
償 還 期 日	2027年12月15日	2032年12月6日
利 払 日	毎年6月15日および12月15日	毎年6月6日および12月6日
担 保	担保は付さない	
社債管理者	株式会社みずほ銀行	—
財務代理人	—	株式会社みずほ銀行
引 受 会 社	大和証券株式会社、野村証券株式会社、三菱UFJモルガン・スタンレー証券株式会社、みずほ証券株式会社を主幹事とする引受証券団	大和証券株式会社、野村証券株式会社、三菱UFJモルガン・スタンレー証券株式会社、みずほ証券株式会社、ゴールドマン・サックス証券株式会社を主幹事とする引受証券団
取 得 格 付	AA- (株式会社日本格付研究所)、A+ (株式会社格付投資情報センター)	
外部評価 (第三者意見)	策定した「サステナブルファイナンス・フレームワーク」について、株式会社日本格付研究所(JCR)より、サステナビリティ・リンク・ボンド原則2020等の原則との適合性に関し、第三者意見を取得。また、サステナビリティボンドガイドライン2021等の原則との適合性に関し、「JCRサステナビリティファイナンス・フレームワーク評価」の最上位である「SU1(F)」の評価を取得。	
対象プロジェクト (資金使途)	「サステナビリティ・ビルディング(歌舞伎町一丁目地区開発計画“東急歌舞伎町タワー”」、「クリーンな輸送(新型車両の導入等)」、「安全・安心のための鉄道関連インフラ」、「気候変動対応(鉄道事業に関する自然災害対策)」、「サテライトシェアオフィス(NewWork)」、「nexus(ネクサス)構想」に要した支出のリファイナンスに充当予定(※赤字新規追加適格プロジェクト)	
KPI/SPT※	—	KPI: 当社および連結子会社のCO2排出量(総量ベース、Scope1およびScope2)の削減率 SPT: 2030年度までに2019年度比CO2排出量46.2%削減 (判定日: 2031年12月末日)
債券の特性	—	SPTが判定日において未達成の場合、償還までに、社債発行額の0.1%相当額を寄付

※KPI: 「重要評価指標」は、選定した指標のパフォーマンスを測定するために使用される定量的な指標

SPT: 「サステナビリティ・パフォーマンス・ターゲット」は、発行体が表明する、事前に設定した時間軸における、KPIの測定可能な改善目標

■資金使途の詳細(新規適格プロジェクト)

適格プロジェクト	SDGs貢献目標	取組概要・期待される効果
<p>東急歌舞伎町タワー (歌舞伎町一丁目地区開発計画)</p>  	      	<p>【概要】 本計画は、多様な文化を発信するエンターテインメント施設、街の文化を織り込んだホテルなどからなる高層複合施設の整備、周辺基盤整備などを通じて、新宿歌舞伎町周辺のにぎわいを創出します。整備にあたり、東京都建築物環境計画書制度における評価段階3相当の環境性能の確保を目指します。また、複数の感染症対策を施設全体で実施し、2021年10月には国土交通省より、新宿駅周辺地域の新しい地域整備方針に基づく民間都市再生事業計画として、初の認定を受けました。本計画の推進を通じて新宿・歌舞伎町のさらなる魅力向上に貢献していきます。</p> <p>【効果】 施設から排出するCO2の削減、省エネ化、生態系の一部保全、先導的な感染症対策などを実施する集客施設による感染リスクの低減を通じた経済活動と感染症対策の両立など。</p>
<p>nexus構想</p>  	  	<p>【概要】 本構想の第1弾として、2022年4月に「nexusチャレンジパーク早野」を開業し、地域住民が日常的に自由に活用する場、およびバディ(本構想に参画する企業、行政、教育機関など)の新サービス開発や実証実験の場として運営を開始しました。次の100年に向けたパイロットプロジェクトと位置づけ、多摩田園都市エリアの社会課題の解決および社会的価値を創出する「東急ならではのまちづくり」を推進していきます。</p> <p>【効果】 まち全体で子育てを行う仕組みの構築、独居高齢者を含めた高齢者が包摂される地域社会の実現、新規事業を通じた地域活性化を促進、地域農家の販売機会を設け地産地消を促進、新たなモビリティの提供による生活者の活力最大化など。</p>

■投資を表明していただいた投資家一覧

石川県信用農業協同組合連合会、茨城県信用組合、大阪信用金庫、共立信用組合、桑名三重信用金庫、さがみ農業協同組合、四国労働金庫、静岡県労働金庫、第一フロンティア生命保険株式会社、但馬信用金庫、東京海上日動火災保険株式会社、東濃信用金庫、苫小牧信用金庫、公益財団法人名古屋まちづくり公社、ニッセイアセットマネジメント株式会社、日本私立学校振興・共済事業団、浜松磐田信用金庫、兵庫県医療信用組合、兵庫県信用組合、北海道信用金庫、横浜港埠頭株式会社 (2022年11月30日現在、五十音順)

※「サステナブルファイナンス・フレームワーク」および第三者意見の詳細については以下をご参照ください。

URL: https://ir.tokyu.co.jp/ja/ir/stock_bond/susb/main/00/teaserItems1/0113/linkList/0/link/sustainable_finance_1.pdf

URL: <https://www.jcr.co.jp/download/b8d7f19fc113acca9901f6da8da8979f96cfaa792b98bedd87/22d0746.pdf>

(参考)2022年9月30日付けニュースリリース

「サステナブルファイナンス・フレームワーク」を策定！

～鉄道業界初の「サステナビリティ・リンク・ファイナンス」に対応し、サステナブル経営を推進します～

URL: <https://www.tokyu.co.jp/image/news/pdf/20220930-1-1.pdf>

以 上